



砺波総合病院から

病院のホームページもご覧ください。

市立砺波総合病院 ☎32-3320

かかりつけ医と 総合病院の橋渡し

患者さんの安心・安定した 生活のために

地域医療部長 白石 浩一

なぜ、かかりつけ医を持ちましようとお勧めするのか

かかりつけ医とは、「健康に関することをなんでも相談できて、必要な時には専門医・専門病院を紹介してくれる身近で頼りになる医師」です。

患者さんが病院を受診する理由の多くは、気になる症状や何らかの異常があり、大きな病気ではないかと不安になるからです。ちよつと薬を飲んだり、様子をみるだけで済むことも少なくありません。そのたびに総合病院を受診するより、まずはかかりつけ医で相談して必要があれば紹介状をもらって総合病院で診てもらう方が待ち時間や無駄な検査も少なくできて効率的です。

また、かかりつけ医がいないことで、自己判断で受診を手控えたり、延期したりしているうちに重症化してしまうといったことがあります。それが防げることができます。

高齢になるとかかる病気の数が増え、ほかの問題も：

はじめはひとつの専門的な診療科の病気で

総合病院にかかっても、長い経過で加齢とともに様々な他の病気を抱える状態になっていくことは容易に想像できると思います。たとえば、内科に通院歴がなく、肺炎で初めて入院した高齢の患者さんに、高血圧や心臓病など治療が必要な病気が見つかることがあります。

また、患者さんの高齢化が進んでいる中では、筋力や精神面の衰え、高齢の夫婦のみや独居での生活など、必要とされる周囲からのサポートが不足した状態が入院をきっかけに明らかとなることもしばしばです。

さらなる安心を手に入れて退院していただく

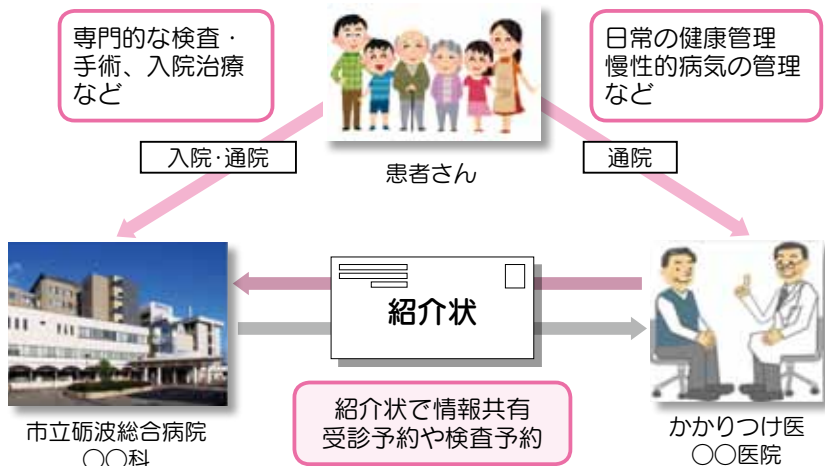
総合病院では患者さんの入院早期から、医師が治療にあたるだけでなく、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなどの多職種が連携し、退院に向けて様々な支援を行います。

患者さんが抱える問題や情報を総合的な視点から収集・整理し、安心・安定した生活のための支援を整えていきます。病状に応じて訪問看護を提案・導入するなど在宅医療を支える取り組みもしています。

かかりつけ医と総合病院の連携

入院治療後、入院にかかわった担当医師は入院治療経過や患者さんの健康問題を整理し、かかりつけ医の先生に情報提供します。また、外来で専門的な治療が一段落し病状が安定した際や、高齢などの理由で通院に不便をきたすようになった時などには、それまでの経過や検査・治療内容の詳細を整理してかかりつけ医の先生に情報提供（逆紹介）しますので

かかりつけ医と病院専門医の医療連携



安心して継続的な治療が受けられます。もちろん緊急時や病状に変化があった際の診療、入院治療は総合病院が担当します。総合病院はかかりつけ医の先生からの紹介状によって効率的かつ的確な診療ができ、かかりつけ医の先生には総合病院からの情報も含めて患者さんをまるごと（包括的に）、長期にわたって継続的に診療していただけます。このように地域医療部ではかかりつけ医と総合病院の連携を円滑化し、情報を共有して診療にあたることで患者さんの病状の安定化を図ることができるような取り組みを行っています。